最終発表

# QCD評価

## 納期

ｓ１

納期は７月１７日で，実際に１７日に納品することに成功しました．

ｓ２

しかし，各種ドキュメント見直しと内部設計書は二週間の遅れが発生し，プログラムにしわ寄せが来ました．直接的な原因としてはPMの体調不良による作業の停滞ですが，より根本的な要因としては，そういったリスクが定義されていなかったことです．つまりはリスク洗い出しが不十分だったことが原因です．

ｓ３

なので，今後はより正確なリスク洗い出しを行います．

具体的な方法としては，リスク洗い出しのブレーンストーミングでやみくもにリスクを書き出すのをやめ，９つの知識エリアをフレームワークとして提示することにより網羅性を増したリスクマトリックスを作成します．

ｓ４

なお，途中遅れたにも関わらず最終的な納期に間に合った理由はプログラミングが想定より短時間で終わったからです．短期間で終わった要因は機システムの簡略化を行ったという点もありますが，より大きい要因はプログラマの技術が高かったことと，良質な参考資料の存在です．

ｓ５

参考資料はこちらです．こちらは古いバージョンですが，最新のPHP5.5に対応したものもあります．

# まとめ

今回のプロジェクトは何とか成功に持っていくことができましたが，まだまだ多くの課題を残しています．しかし，この失敗経験とそれに対する改善が成長につながると思っています．また，プロジェクトを通してバージョン管理システムを使用したことはソフトウェア開発の世界で生きていくための糧の一つになりました．これからも精進していきます．以上で終了です．